

(別紙)

平成25年11月11日

## アドバイス支援依頼概要書

## 1. 依頼者の概要

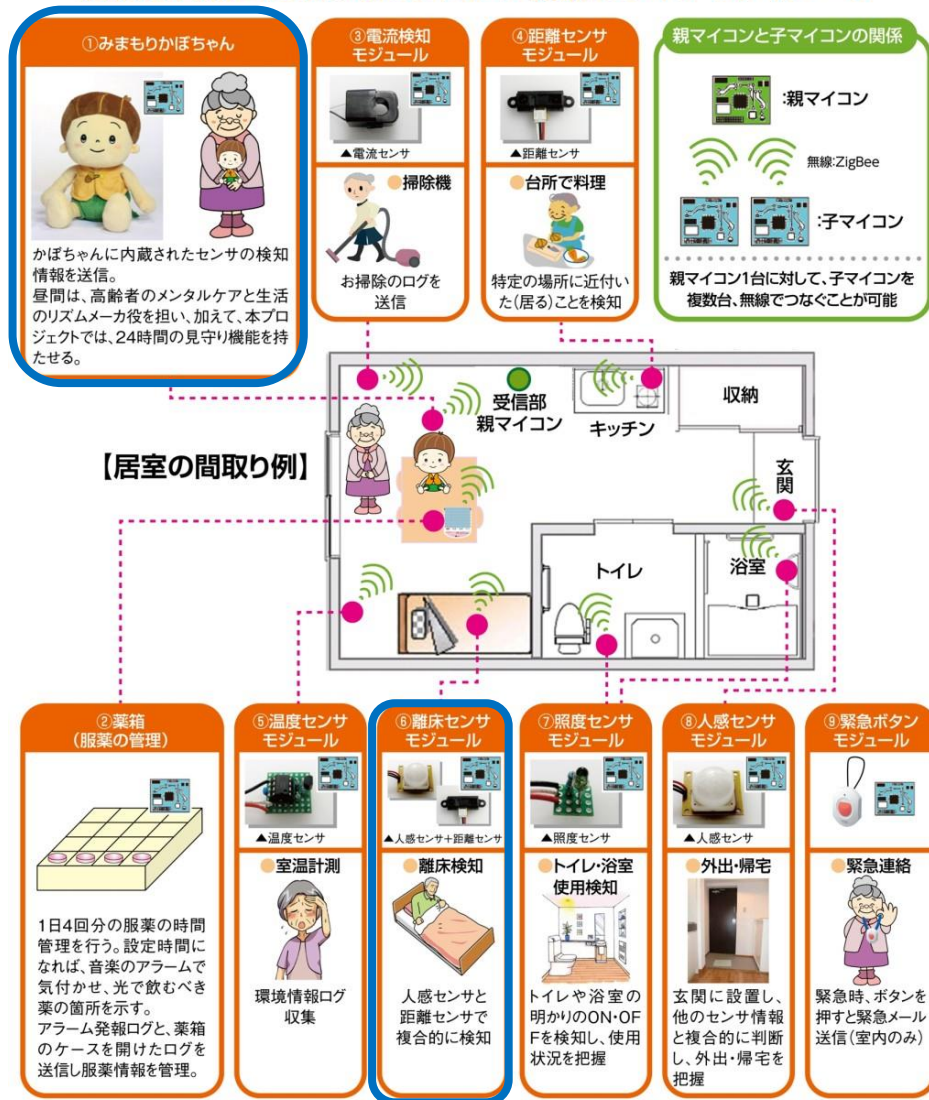
事業者名	ピップ株式会社		
担当者名	岡崎雅嗣		
担当者連絡先	住所	大阪府中央区農人橋1-1-22 大江ビル9F	
	電話	06-7663-7853	
	電子メールアドレス	m-okazaki@pipjapan.co.jp	
主たる業務			
主要な製品	磁器治療器（ピップエレキバン）、ヘルスケア用品（スリムウォーク）、医療衛生用品、ベビー用品、介護用品、コミュニケーションロボットうなずきかぼちゃん等の製造並びに販売。		
希望する施設等の種類、職種	離床センサーを導入されている施設等で、離床を中心にアドバイスをしていただける場所。		
アドバイス団体の所在する地域希望	関西地区または関東地区を希望。		
その他			

## 2. 試作機あるいは機器開発コンセプトの概要（可能な範囲でご記入ください。）

機器の名称（仮称）	(仮称) 見守りネットワークエージェント型ロボット <見守りかぼちゃん、飲み忘れ防止・服薬管理薬箱、センサー選択型行動見守りネットワーク（離床センサー他）>
-----------	---

【認知症の方の見守りネットワークエージェント型ロボット】

施設の各居室におけるセンシング機器のレイアウトイメージ



機器の写真あるいはコンセプトイメージ

機器の目的及び特徴

対象機器：見守りかぼちゃん、離床センサー

・目的

要介護者・認知症の高齢者の起き上がりから離床までの状態を的確に検知し、介護従事者にアラームを発報。  
ひとりで離床、移動すると転倒の恐れがある方や徘徊する方を離床センサーで見守る。

・特徴

1. ベッドに設置する3種類のセンサーを組み合わせ、起き上がりから離床までの状態を検知する。
2. ネットワークを通して見守り側のタブレットPCなどに要介護者等の状態をあらかじめ設定したアラームポイントで知らせることが可能。
3. 離床センサーと連動して見守りかぼちゃんが声掛けをすることで、離床を引き止める、あるいは離床までの時間を引き伸ばすことで、緊急対応しななければならない介護従事者の負担を軽減する。

想定する使用者

見守りを要する要介護者・認知症の高齢者を対象に介護従事者が使用。  
見守りかぼちゃんは、コミュニケーションロボットとして要介護者等が使用。

想定する使用方法や使用環境

インターネットに接続できる環境がある、要介護者・認知症の高齢者が利用する施設を中心に考えており、介護従事者は主にタブレットPCでアラームや情報を受け取る。

開発に至った背景	<p>高齢者の問題としての身体的機能の低下、認知機能の低下、気分の低下（うつ）といったことが社会とのコミュニケーションの低下をもたらす悪循環として回っていく。</p> <p>中でも大きな問題としてあげられる認知症の方への支援、並びに介護従事者の負担軽減に貢献できる新しい仕組みが必要と考え開発にいたった。</p> <p>今回、すでに製品化して販売しているコミュニケーションパートナーロボット「うなずきかぼちゃん」を進化させ見守りに加えることで、一層の効果が得られるものと考えている</p>
現在の課題	<p>試作を進めるためには、離床にかかわる現場専門スタッフの意見を集約し反映させる必要があると考えている。</p>
アドバイスをしてほしい事項	<p>離床センサーの取り付け、運用の方法、並びに離床アラームを必要とする状況との整合性（見守りかぼちゃん含む）、安全面などについて評価、アドバイスをお願いしたい。</p>
その他	